

EPSON

ELP-735 EasyMP™

活用ガイド

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。



お使いになる前に

本製品を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアル類をよくお読みください。不明な点をいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。






説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	プロジェクターの故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
 ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。● p. 56
[(ボタン名)]	操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。 例: [戻る]
[(メニュー名)]	画面に表示されているボタンやメニュー名を示しています。 例: 「OK」
	奇数ページを超えて、次ページに説明が続くことを示しています。

「プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

目次

説明書中の表示の意味	1
プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2の使い方)	
シナリオに組み込めるファイル	4
シナリオの作成と転送	6
シナリオの作成	7
シナリオの転送	12
こんなときには	15
プレゼンテーションの実行 (CardPlayerの使い方)	
CardPlayerで投写できるファイル	22
CardPlayerの使用方法	23
CardPlayerの起動方法	23
CardPlayerの終了方法	24
CardPlayerの基本操作	25
シナリオの投写	30
シナリオの再生	30
プレゼンテーション中の操作	31
シナリオの編集	32
画像・動画ファイルの再生	34
画像・動画を再生する	34
フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に再生する (スライドショー)	35
表示条件と操作モードを設定する	37
高度な使い方	
コンピュータから設定・監視・制御をする	40
Webブラウザを使って設定を変更する (EasyWeb)	40
EMP Monitorを使って監視や制御をする	45
メール通知機能で異常を通知する	51
SNMPを使って管理する	53
付 録	
用語解説	56
索引	57



プレゼンテーションの 準備 (EMP SlideMaker2 の使い方)

ここでは、シナリオの作成、転送方法について説明しています。

シナリオに組み込めるファイル	4
シナリオの作成と転送	6
• シナリオの作成	7
• シナリオの転送	12
• こんなときには	15
• シナリオの簡易作成	15
• コンピュータ上でシナリオの投写状態を確認したいとき	16
• アニメーションの設定	17

シナリオに組み込めるファイル

シナリオとして、1つのファイルに組み合わせることができるファイルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
PowerPoint	.ppt	Microsoft PowerPoint 2000/2002
画像	.bmp	
	.jpg	バージョンを問いません。ただし、CMYKカラーモード形式、プログレッシブ形式のものは再生できません。
動画	.mpg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720×480までで、DVDと同じ(シーケンスヘッダがGOPごとに配置されている)形式でないと再生できません。 再生できる音声形式は、MPEG1レイヤー2です。リニアPCMとAC-3は再生できません。 使用するメモ리카ードは、コンパクトフラッシュカードまたはカード型のハードディスクドライブを推奨します。上記以外のメモ리카ードを使用すると、正しく再生できないことがあります。また、アクセス速度が遅いコンパクトフラッシュカードを使用すると、正しく再生されなかったり、音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。また、コンテンツによっては、画面や音が乱れることがあります。
音声	.wav	PCM、22.05/44.1/48.0kHz、8/16ビット



ポイント

- PowerPoint の「スライドショー」メニューで設定した画面切り替えの効果とアニメーションのうち、シナリオにも反映されるものは次のとおりです。

- スライドイン
- ブラインド
- ボックス
- チェッカーワイプ
- クロール
- ディゾルブ
- ピーク
- ランダムストライプ
- スパイラル
- スプリット
- ストレッチ
- ストリップ
- ターン
- ワイプ
- ズーム

上記以外の画面切り替えの効果とアニメーションは「カット」に置き換えられます。

- 左記の表にある画像・動画ファイルをファイル単独で再生したい場合は、シナリオにする必要はありません。メモリーカードにファイルをそのまま保存したあとで、プロジェクターにセットすれば CardPlayer 機能で直接再生して投写できます。☛ p.34

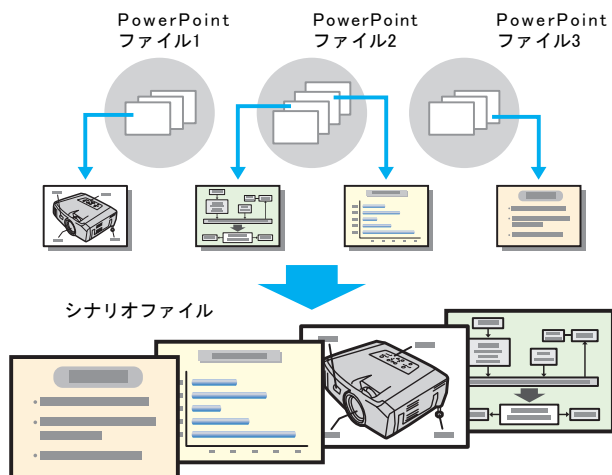
本機以外のプロジェクターの同梱ソフトで作成したシナリオについて、本機の EMP SlideMaker2 で開くことができるものとできないものは次表のとおりです。

プロジェクター	ソフト	本機のEMP SlideMaker2で開く
EMP-7850	EMP SlideMaker2	○
ELP-8150/8150NL	EMP Scenario	×
ELP-715/505	EMP SlideMaker	×

シナリオの作成と転送

PowerPoint ファイルや画像ファイルを組み合わせ、投写する順番に並べて1つのファイルとして保存したものを、本書では「シナリオ」と呼びます。シナリオはEMP SlideMaker2で作成します。

EMP SlideMaker2を使うと、元となるファイルを編集せずに、必要な部分を抽出、並び替えて、簡単に、そして効率的にプレゼンテーション資料を準備できます。



作成したシナリオはコンピュータにセットしたメモ리카ードに転送します。そのメモ리카ードをプロジェクターのカードスロットにセットして、プロジェクターに搭載のEasyMPのCardPlayerでシナリオを投写します。

EMP SlideMaker2

シナリオの作成 ◀ p.7



シナリオの転送 ◀ p.12

コンピュータでの作業



Card Player

シナリオの投写 ◀ p.30

プロジェクターでの作業

シナリオの作成

シナリオを作成する前に、次の点を確認してください。

- PowerPoint、画像・動画などの組み合わせるデータは、あらかじめ作成しておきます。
- 前述の「シナリオに組み込めるファイル」に記載されているファイル以外は使用できません。▶ P.4

1 コンピュータで Windows を起動し、「スタート」-「プログラム」(または「すべてのプログラム」)-「EPSON Projector」-「EMP SlideMaker2」の順に選択します。

EMP SlideMaker2 が起動し、シナリオのプロパティが表示されます。

2 次の表を参照して各項目を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'プロパティ' (Properties) dialog box for a scenario. It contains the following fields and options:

- シナリオ名 (P):** A text box containing 'C\MP\LAN01'.
- 作業用フォルダ (D):** A text box containing 'C:\PROGRAM FILES\EMP SLIDEMAKER2' with a '参照 (R)...' button to its right.
- BGMを設定する (M):** A checkbox that is currently unchecked, followed by a right-pointing arrow and '(M)...'.
- 背景色:** A section with a label '色 (C):' and a color selection box showing black.
- 画質:** A section with three radio button options:
 - 最高画質 (H): 約700KByte/1セル
 - 高画質 (H): 約350KByte/1セル
 - 標準 (S): 約100KByte/1セル
- At the bottom, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル'.

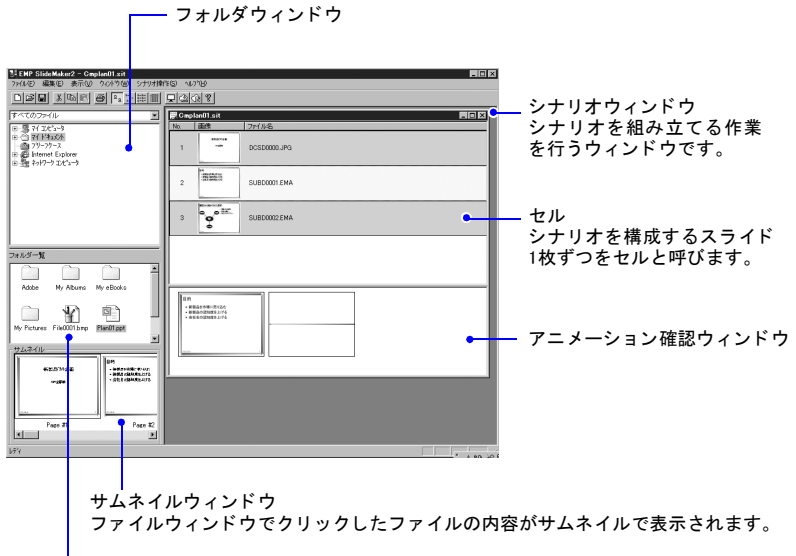
シナリオ名	作成するシナリオのファイル名と、作業用フォルダ名になります。必ず入力してください。アルファベットの大文字と数字を8文字まで入力できます。次項の作業用フォルダのディレクトリと合わせて127文字以内になるようにしてください。
作業用フォルダ	シナリオ作成時の作業用フォルダをどこに作成するかを指定します。ここで指定したディレクトリにフォルダが作られます。
BGMを設定する	シナリオ再生中にBGMを流したいときにクリックしてチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、音声ファイル(WAVE形式)を選択する画面が表示されます。この画面で、BGMとして使用するファイルを選択します。 音声ファイル選択後、右側の「▶」ボタンをクリックすると、選択した音声ファイルが再生されます。「■」ボタンをクリックすると再生を停止します。
背景色	シナリオ中の画像データの背景を選択します。
画質	EMP SlideMaker2はPowerPointファイルの各スライドをJPEGファイルに変換して保存します。この項目では、JPEGファイルに変換するときの画質を選択します。JPEGファイルは特性上、圧縮率が高いと、圧縮率の低いJPEGファイルに比べて画質が粗くなりますが、ファイルサイズは小さくなり、投写に時間がかかりません。ここでの設定項目では、「最高画質」、「高画質」、「標準」の順に圧縮率が高くなります。したがって、「最高画質」に設定した場合は、高画質でサイズの大きいJPEGファイルで保存されます。「標準」に設定した場合は、他に比べて画質が低くなりますが、サイズの小さいJPEGファイルで保存されます。シナリオに直接JPEG ファイルを組み込んだ場合、その画面に対しては上記の各設定は無効となり、元のファイルの圧縮率が有効となります。



ポイント

一度、設定した内容は、「ファイル」-「プロパティ」で変更できます。

3 シナリオで使うファイルを選択します。



ファイルウィンドウ
フォルダウィンドウで選択したフォルダ内のファイルが表示されます。

フォルダウィンドウで、目的のフォルダをクリックすると、ファイルウィンドウにフォルダ内のファイルが一覧で表示されます。

画像ファイルの場合は、ファイルウィンドウでファイルアイコンをクリックすると、ファイルの内容がサムネイルウィンドウに表示されます。

動画ファイルの場合は、アイコンがサムネイルウィンドウに表示されません。

ファイルウィンドウで、ファイルアイコンをダブルクリックすると、シナリオウィンドウ内に選択したファイルが表示されます。

PowerPointファイルは、次の2通りの方法でシナリオに取り込みます。

・PowerPointファイル内の全スライドを取り込む

- ①ファイルウィンドウで目的のPowerPointファイルをダブルクリックする。
- ②メッセージを確認後「OK」ボタンをクリックする。自動的にスライドショーが実行される。
キーボードの[Esc]キーを押すとスライドショーが中止される。その場合、実行済みのスライドはシナリオに取り込まれる。
- ③スライドショーが終了したらクリックする。
ファイル内の全スライドがシナリオウィンドウに表示される。



この手順で取り込んだ場合、シナリオに取り込んだあとも PowerPoint で設定したアニメーションが保持されます。したがって、シナリオを CardPlayer で投写する際にアニメーションが有効に働きます。

・サムネイルを確認しながら必要なスライドだけを取り込む

①ファイルウィンドウでファイルアイコンをクリックする。

②シナリオに取り込むサムネイルをダブルクリックする。

目的のスライドがシナリオウィンドウに表示される。

この手順で取り込んだ場合、PowerPoint で設定したアニメーションはシナリオに取り込んだあとは、すべて無効となります。

アニメーションを保持しているスライドは、シナリオウィンドウのセルに「.EMA」と表示されます。アニメーションを保持していないスライドはセルに「.JPG」と表示されます。「.EMA」と表示されたセルをクリックすると、アニメーションの各動作がアニメーション確認ウィンドウに表示されます。



ポイント

- お使いのコンピュータに PowerPoint がインストールされていない場合は、サムネイルを表示することはできません。
- アニメーションは、EMP SlideMaker2 のプロパティ画面でも設定できますが、あらかじめ PowerPoint で設定したアニメーションの方が、シナリオ再生時の動作がなめらかです。PowerPoint のスライドにアニメーションを設定したい場合は、PowerPoint で設定することをお勧めします。画像にアニメーションを設定したい場合や、設定したアニメーションを保持せずに、シナリオに取り込んだスライドにアニメーションを設定したい場合は、EMP SlideMaker2 のプロパティ画面で設定してください。● P.17
- PowerPoint で設定できるアニメーションで、以下のアニメーションはシナリオにも反映されます。

● スライドイン	● ブラインド	● ボックス
● チェッカーワイプ	● クロール	● ディゾルブ
● ピーク	● ランダムストライプ	● スパイラル
● スプリット	● ストレッチ	● ストリップ
● ターン	● ワイプ	● ズーム

上記以外のアニメーションは「カット」に置き換えられます。

4 ファイルやスライドを追加、削除したり順番を入れ替えたりしてシナリオを完成させます。

シナリオウィンドウに表示されている内容は、プロジェクターのCardPlayerで投写したとき、上から順番に投写されます。

・ファイルやスライドを追加するとき

ファイルウィンドウに表示されているファイルや、サムネイルウィンドウに表示されている PowerPoint のスライドを、シナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ&ドロップします。

・複数のスライドを追加するとき

サムネイルウィンドウで、追加したいスライドを順次クリックしていきます。クリックしたスライドはすべて選択されます。選択したスライドをもう1度クリックすると、選択が解除されます。追加したいスライドをすべて選択したら、選択したスライドの1つをシナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ&ドロップします。選択したスライドがすべてシナリオに追加されます。

・複数のファイルを追加するとき

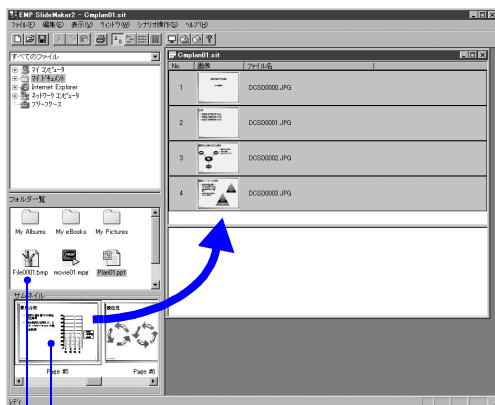
ファイルウィンドウで、キーボードの[Ctrl]キーを押したまま、追加したいファイルアイコンを順次クリックしていきます。クリックしたファイルはすべて選択されます。アイコン外の白い領域をクリックすると選択が解除されます。追加したいファイルをすべて選択したら、選択したファイルの1つをシナリオウィンドウの追加したい場所にドラッグ&ドロップします。選択したファイルがすべてシナリオに追加されます。

・削除するとき

削除したいセルでマウスを右クリックし、表示されたメニュー（ショートカットメニュー）で「切り取り」を選択します。

・順番を入れ替えるとき

移動したいセルをシナリオウィンドウ内でドラッグ&ドロップして入れ替えるか、ショートカットメニューを表示し、「切り取り」を選択後、「貼り付け」を実行して入れ替えます。



目的のファイルやスライドをドラッグ&ドロップでシナリオウィンドウ内に追加することができます。



ポイント

- EMP SlideMaker2の各メニューの機能はヘルプを参照してください。
- 作成途中のシナリオを一時保存する場合は「上書き保存」、あるいは「名前を付けて保存」を実行します。ただし、シナリオをメモ리카ードに保存した場合、そのシナリオはEasyMPのCardPlayerで再生できません。必ず「シナリオ転送」を実行してください。

シナリオの転送

作成したシナリオをプロジェクターで投写するには、EMP SlideMaker2の「シナリオ転送」でメモ리카ードにシナリオを転送します。

転送先には、コンピュータのカードドライブにセットしているメモ리카ードを指定します。

シナリオをプロジェクター起動時に自動的に投写したり、繰り返して投写するように設定することもできます。自動的に投写する機能を「オートラン」といいます。

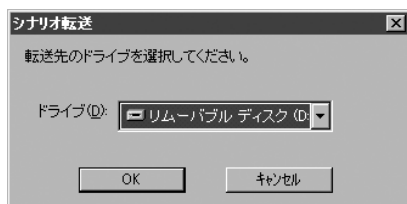


ポイント

- 「シナリオ転送」を実行すると、シナリオファイルが「シナリオ名 .sit」という名前でメモ리카ード内に保存されます。また、シナリオ名と同名のフォルダが作られ、各画面が画質の設定に応じた画像ファイルに変換され、そこに保存されます。
- 保存を行わずに「シナリオ転送」を実行した場合は、作業用フォルダ内にも「シナリオ名 .sit」というファイルとシナリオ名と同名のフォルダが作られ、そこに各画面が画質の設定に応じた画像ファイルに変換され、保存されます。

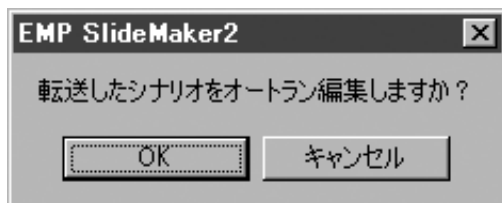
1 シナリオが完成したら、メモリカードをコンピュータにセットして「シナリオ操作」-「シナリオ転送」を選択します。

2 転送先のドライブを指定するダイアログボックスが表示されます。メモリカードがセットされているドライブを選択して「OK」ボタンをクリックします。

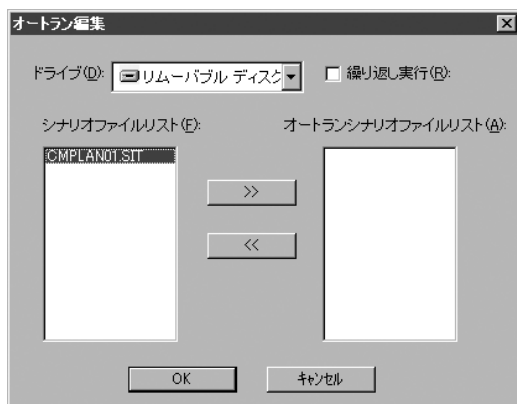


3 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

4 転送が終了すると、オートランの設定を行うか確認するメッセージが表示されます。オートランや繰り返しの設定をする場合は、「OK」ボタンをクリックして次の手順に進みます。設定をしない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックすると終了します。



5 左側のシナリオファイルリストに、メモリカード内のすべてのシナリオファイルが表示されます。



プロジェクターの電源を入れたときに、シナリオを自動投写する場合は、シナリオファイルリストで目的のシナリオ名をクリックして、「>>」ボタンをクリックします。右側のオートランシナリオファイルリストにシナリオが表示され、オートランファイルとして設定されます。

シナリオの投写が終了したら自動的に最初から投写し直す場合は、シナリオファイルリストで目的のシナリオを選択して「繰り返し実行」にチェックマークを付けます。



ポイント

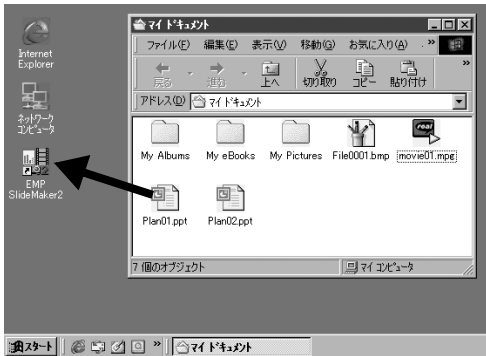
- オートランの設定は、「シナリオ操作」-「オートラン編集」を選択しても実行できません。
- オートランの設定はEasyMPのCardPlayerでは指定できません。
- オートランに設定したファイルが2つ以上ある場合は、オートランシナリオファイルリストの上から順に再生されます。

6 シナリオを転送したメモリカードをプロジェクターにセットしてCardPlayerで投写します。☞ p.21

こんなときには

シナリオの簡易作成

単純に PowerPoint の 1 つのファイルをそのままシナリオにする場合は、PowerPoint のファイルアイコンを、デスクトップ上の EMP SlideMaker2 のプログラムアイコン上へドラッグ&ドロップするだけで、簡単にシナリオを作成できます。



ポイント

- EMP SlideMaker2 起動中はシナリオの簡易作成はできません。EMP SlideMaker2 を終了してから実行してください。
 - 作成されたシナリオには「Scnxxxx」(xxxxは数字) という名前が付きます。シナリオの画質は「標準」に設定されます。画質は、「ファイル」-「プロパティ」を選択して表示されるシナリオ設定ダイアログボックスで変更できます。画質についての詳細は「シナリオの作成」をご覧ください。 p.7
 - PowerPoint のファイルを複数選択して EMP SlideMaker2 のプログラムアイコンへドラッグ&ドロップした場合、マウスカーソルが指しているアイコンのファイルだけがシナリオになります。
 - シナリオの簡易作成を実行した場合、PowerPoint のファイルにあるすべてのスライドからシナリオを作成します。投写したくないスライドがある場合は、該当のセルを右クリックして「非表示」を選択します。
 - PowerPoint で設定できるアニメーションで、次のアニメーションはシナリオにも反映されます。
 - スライドイン
 - ブラインド
 - ボックス
 - チェッカーワイブ
 - クロール
 - ディゾルブ
 - ピーク
 - ランダムストライプ
 - スパイラル
 - スプリット
 - ストレッチ
 - ストリップ
 - ターン
 - ワイブ
 - ズーム
- 上記以外のアニメーションは「カット」に置き換えられます。

コンピュータ上でシナリオの投写状態を確認したいとき

作成したシナリオが、プロジェクターのCardPlayerで再生したときにどのように投写されるかを、コンピュータ上で確認できます。画像、アニメーション効果、BGMなどシナリオの構成要素をすべて再生します。







1 EMP SlideMaker2で、確認したいシナリオを開いておきます。


2 「シナリオ操作」-「シナリオプレビュー」の順で選択します。



3 シナリオプレビュー画面が表示されます。次の表を参考にシナリオを操作します。



 停止	再生を中止し、一番前のスライドに戻ります。
 一時停止	シナリオ動作が「自動」に設定されているスライドを一時停止します。
 再生	シナリオプレビューを開始します。また、停止または一時停止しているシナリオを再開します。シナリオ動作が「手動」に設定されている場合は、次のスライドを表示します。
 巻き戻し	現在表示しているスライドの1つ前のスライドまたはアニメーション実行前の画面に戻ります。戻る際はアニメーション効果は実行されません。
 早送り	現在表示しているスライドの1つ先のスライドまたはアニメーション実行後の画面に進みます。このときアニメーション効果は実行されません。
 ボリューム	Volume Controlを起動します。BGMの音の大きさを調整できます。
進行状況バー	シナリオの進行状況をバーで表示します。開始時はバーの表示はなく、進行するにしたがって左から右にバーが伸びていきます。一番右までバーが達すると終了です。

4 確認し終わったら、画面右上の「」ボタンをクリックしてシナリオプレビュー画面を閉じます。

アニメーションの設定

EMP SlideMaker2 では、PowerPoint のアニメーション効果と同様の効果をシナリオ内の各セルに設定できます。PowerPoint で設定したアニメーションを保持しているスライドは、分割されたコマごとに投写時間やアニメーションを設定して投写することができます。この場合は、アニメーション確認ウィンドウで目的のアニメーションを右クリックして「セルのプロパティ」をクリックします。



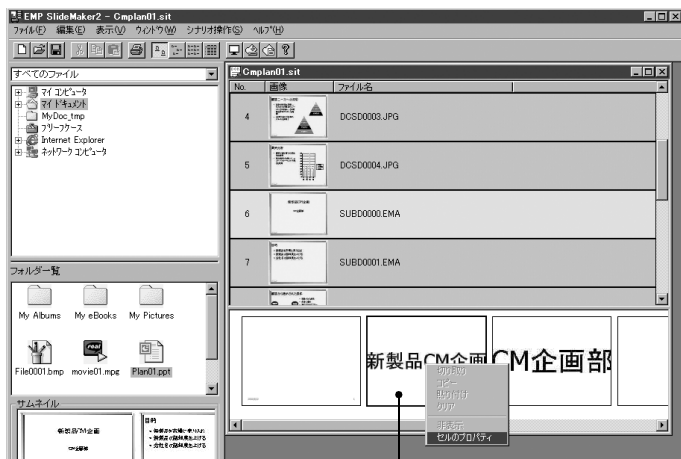
ポイント

あらかじめPowerPointでアニメーションを設定したファイルをシナリオに取り込んだ方が、シナリオ再生時のアニメーションの動作がなめらかです。PowerPointのスライドにアニメーションを設定したい場合は、PowerPointで設定することをお勧めします。画像ファイルにアニメーションを設定したい場合や、設定したアニメーションを保持せずに、シナリオに取り込んだスライドにアニメーションを設定したい場合は、ここで説明している方法で設定します。



1 目的のセル、またはアニメーションで右クリックし、「セルのプロパティ」を選択します。

複数のセル、またはアニメーションに同じ設定をする場合は、キーボードの[Shift]キー、または[Ctrl]キーを押したままクリックして複数のセルを選択後、右クリックして「セルのプロパティ」を選択します。




アニメーション

2 プロパティ画面が表示されます。次の表を参照して項目を設定し、「OK」ボタンをクリックします。



シナリオ動作	「自動」を選択した場合は、切り替える時間を0秒から1800秒の間で設定できます。「手動」にした場合は、投写時にリモコンの[ページ送り]または[ページ戻し]ボタンを押して切り替えます。
アニメーション効果	投写時に画面を切り替えるときに、切り替わる画面に効果を指定できます。 選択したアニメーションによっては、「方向」を選択します。 以下が効果の一例です。 スライドイン:指定した方向から画面を切り替えます ボックスワイプイン:内側から画面を切り替えます



プレゼンテーションの実行 (CardPlayerの使い方)

ここでは、EMP SlideMaker2でメモリカードに転送したシナリオと、画像・動画ファイルをプロジェクターで投写する操作を説明します。画像・動画ファイルはあらかじめコンピュータ側でメモリカードに保存しておきます。

CardPlayerで投写できるファイル.....	22
CardPlayerの使用方法.....	23
• CardPlayerの起動方法.....	23
• CardPlayerの終了方法.....	24
• CardPlayerの基本操作.....	25
• Easyメニューの操作方法(ガイドモード).....	26
• クイックモードでの操作方法.....	28
• 画像を回転する.....	28
シナリオの投写.....	30
• シナリオの再生.....	30
• プレゼンテーション中の操作.....	31
• シナリオの編集.....	32
画像・動画ファイルの再生.....	34
• 画像・動画を再生する.....	34
• フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に再生する (スライドショー).....	35
表示条件と操作モードを設定する.....	37

CardPlayerで投写できるファイル

CardPlayerで投写できるファイルは次のとおりです。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
シナリオ	.sit	シナリオ転送で作成されたシナリオファイルです。 シナリオ作成時にBGM設定した音声(.wav)も再生できます。 ELP-715/505に添付のEMP SlideMakerで作成したシナリオも投写できます。
画像	.bmp	24ビット カラーのもののみ投写できます。
	.jpg	バージョンを問いません。ただし、CMYKカラーモード形式、プログレッシブ形式、解像度が2560×1920を超えるものは投写できません。
	.png	解像度が1024×768を超えるものは投写できません。
動画	.mpeg	MPEG2-PS 再生可能なサイズが最大720×480までで、DVDと同じ(シーケンスヘッダがGOPごとに配置されている)形式でないとは再生できません。 再生できる音声形式は、MPEG1レイヤー2です。リニアPCMとAC-3は再生できません。 使用するメモ리카ードは、コンパクトフラッシュカードまたはカード型のハードディスクドライブを推奨します。上記以外のメモ리카ードを使用すると、正しく再生できないことがあります。また、アクセス速度が遅いコンパクトフラッシュカードを使用すると、正しく再生されなかったり、音飛びしたり音が出なくなったりすることがあります。また、コンテツによっては画面や音が乱れることがあります
DPOF▶▶	.mrk	DPOFのバージョンが1.10で、ファイル名がAUTPLAYx.mrk (xは0~9の数字)のもののみ投写できます。



ポイント

- 拡張子が「jpeg」のJPEGファイルと「mpeg」のMPEGファイルは投写できません。
- JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。

CardPlayerの使用方法

プロジェクターにセットしたメモ리카ード内のシナリオ、画像・動画ファイルを再生するには、EasyMPのCardPlayerを使用します。ここでは、CardPlayerの使用方法について説明します。

CardPlayerの起動方法

次の手順でCardPlayerを起動します。

- 1 プロジェクターのカードスロットにメモ리카ードをセットします。
- 2 リモコンの[電源]ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。
- 3 リモコンの[PC/EasyMP] ボタンを押し、投写画面に「EasyMP」と表示されるのを確認してください。

CardPlayerが起動してメモ리카ードの内容が表示されます。JPEGファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。それ以外のファイルとフォルダはアイコン表示されます。





ポイント

- 再生を中止したい場合は、リモコンの[戻る]ボタンを押します。
- オートランの設定をしたシナリオがメモ리카ードにある場合は、最優先でそのシナリオを自動的に再生します。
- プロジェクターのカードスロットにメモ리카ードがセットされていないと、次の画面が表示されます。この場合は、メモ리카ードをセットすると、手順3の画面が表示されます。



- JPEG ファイルによっては、サムネイル表示に切り替えてもサムネイルが表示できないことがあります。その場合はファイルアイコンが表示されます。

CardPlayerの終了方法

- 1 リモコンの[▲][▼][◀][▶]ボタンを押し「EJECT」ボタンにカーソルを合わせます。



- 2** リモコンの[決定]ボタンを押します。
CardPlayerが終了し、次の画面が表示されます。



- 3** プロジェクターのカードスロットからメモリーカードを取り出します。

CardPlayerの基本操作

CardPlayerの操作には、次の2つの操作モードがあります。

- ・「ガイドモード」 : ファイル操作をするための Easy メニューが表示されます。Easy メニューで項目を選択してファイルの再生やオプション設定などの操作をします。
- ・「クイックモード」 : ファイルの再生、フォルダを開く、シナリオ編集時の移動元スライド選択と移動先決定を、Easy メニューを使わずにリモコンの[決定]ボタンを押すだけで実行できます。

初期設定では「ガイドモード」に設定されています。

操作モードの設定方法については、「表示条件と操作モードを設定する」をご覧ください。☛ p.37

クイックモードでの操作方法については、「クイックモードでの操作方法」をご覧ください。☛ p.28

Easyメニューの操作方法(ガイドモード)

Easyメニューを使ってシナリオや画像・動画の再生などをする手順を説明します。

1 リモコンの[▲][▼][◀][▶] ボタンを押して、操作の対象となるファイルまたはフォルダにカーソルを合わせます。

現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダが表示しきれていない場合は、リモコンの[ページ送り]ボタンを押します。「次のページ」ボタンにカーソルを合わせてリモコンの[決定]ボタンを押しても、同様に次の画面が表示されます。前の画面に戻る場合は、リモコンの[ページ戻し]ボタンを押すか、「前のページ」ボタンにカーソルを合わせてリモコンの[決定]ボタンを押します。



2 リモコンの[決定]ボタンを押します。 Easyメニューが表示されます。





[決定] ボタンを押したときに、シナリオや画像・動画が再生されたり、フォルダが開いたりする場合は、操作モードが「クイックモード」になっています。● p.28

Easy メニューは選択するものによって以下のように表示される項目が異なります。

シナリオを選択した場合

シナリオ再生	シナリオを再生します。● p.30
シナリオ編集	シナリオの編集画面を表示します。● p.32
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

画像ファイルを選択した場合

画像再生	画像を再生します。● p.34
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

動画ファイルを選択した場合

動画再生	動画を再生します。● P.34
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

フォルダを選択した場合

フォルダを開く	フォルダを開いてフォルダ内のファイルを表示します。フォルダを開いた画面で、左上のフォルダアイコンを選択して[決定]ボタンを押します。表示されたメニューで「一つ上の階層へ」を選択して[決定]ボタンを押すとフォルダを開く前の画面に戻ります。
スライドショー再生	フォルダ内の画像、動画ファイルを順次再生します。● p.35 スライドショー再生では、シナリオは正しく再生できません。シナリオを再生する場合は、シナリオファイルを選択して、「シナリオ再生」を実行してください。
オプション	オプション設定画面を表示します。Card Playerでスライドショー表示条件と動作モードを設定できます。● p.37
キャンセル	何もせずにEasyメニューを閉じます。

クイックモードでの操作方法

クイックモードでは次のように、リモコンの[決定]ボタンを押すと主な機能を直接実行できます。リモコンの[戻る]ボタンを押すとEasyメニューが表示され、別の機能を実行することもできます。

ファイルまたはフォルダ選択時

[決定]	フォルダ: 開く シナリオ、画像、動画: 再生
[戻る]	Easyメニュー表示

シナリオ編集時

[決定]	移動元スライド 選択、移動先決定
[戻る]	Easyメニュー表示

画像を回転する

CardPlayerで再生したJPEG形式の画像を90°単位で回転できます。スライドショー実行時に再生されるJPEG形式の画像も回転できます。次の手順でJPEG形式の画像を回転します。

1 JPEG形式の画像またはシナリオを再生するか、スライドショーを実行します。

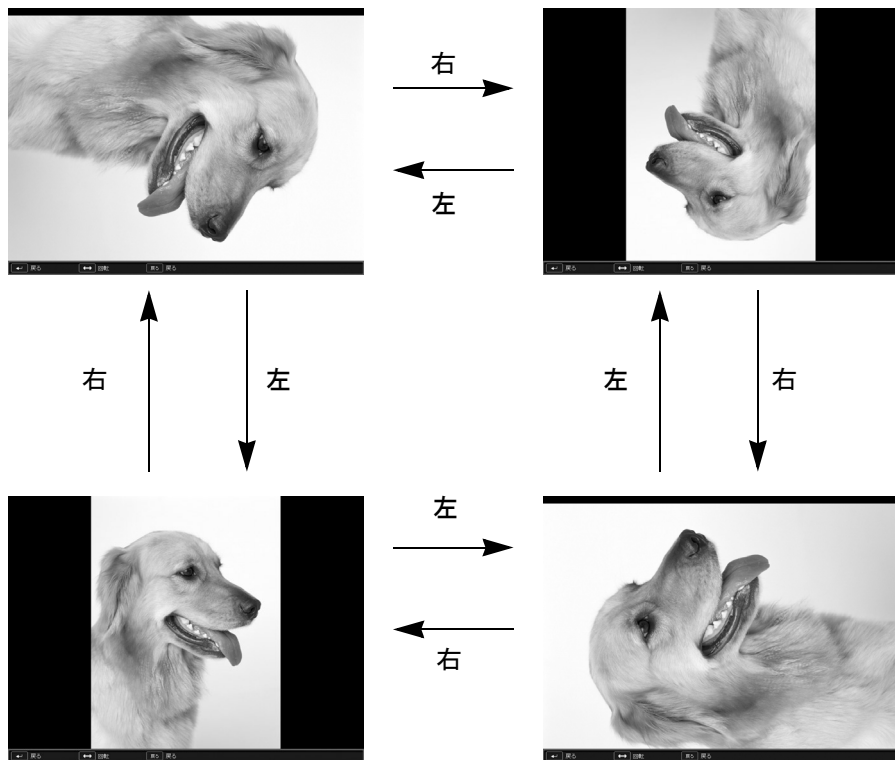
JPEG形式の画像の再生 ● 「画像・動画を再生する」 p.34

シナリオの再生 ● 「シナリオの再生」 p.30

スライドショーの実行 ● 「フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に再生する(スライドショー)」 p.35

2 JPEG 形式の画像が再生されたら、リモコンの[◀][▶] ボタンを押します。

[◀][▶]ボタンを押す方向と画像の回転は下図のとおりです。



シナリオの投写

ここでは、メモ리카ードに転送したシナリオの再生方法とシナリオ再生中の操作方法、シナリオの編集方法について説明します。

シナリオの再生

再生するシナリオは、事前に EMP SlideMaker2 の「シナリオ転送」機能でメモ리카ードに転送しておきます。● p.12



シナリオにオートランや繰り返しの設定ができます。● p.12

1 CardPlayerを起動します。● p.23

セットしているメモ리카ードの内容が表示されます。

2 リモコンの[▲][▼][◀][▶] ボタンを押して、再生するシナリオファイルにカーソルを合わせます。

3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。

ガイドモード : [決定] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。

[▲] と [▼] ボタンを押して「シナリオ再生」を選択して [決定] ボタンを押します。



クイックモード : [決定] ボタンを押します。

4 シナリオが再生されます。「シナリオ動作」が「自動」に設定されている場合は最後まで再生すると、ファイル一覧表示に戻ります。繰り返し設定がされているときは、最後まで再生すると最初から再生を繰り返します。

「シナリオ動作」が「手動」に設定されている場合や、中止、停止を行うには、次の「プレゼンテーション中の操作」をご覧ください。



ポイント

- 投写順の変更や表示・非表示の設定は、シナリオ編集画面で行います。● p.32
- シナリオ再生中、JPEG 形式の画像が投写されているときは、画像を回転できます。● p.28

プレゼンテーション中の操作

シナリオ再生中は、リモコンで次の操作ができます。

画面切り替え	[決定]または[ページ送り]ボタンを押すと、次の画面に進みます。 [ページ戻し]ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
再生の中止	[戻る]ボタンを押すと、「シナリオ再生を終了しますか？」とメッセージが表示されます。「終了する」ボタンを選択して[決定]ボタンを押すと終了します。「戻る」ボタンを選択して[決定]ボタンを押すと再生を続けます。

プロジェクター本体の次の機能は CardPlayer でシナリオや画像ファイルを投写しているときも同様に使えます。各機能の詳細は『取扱説明書』『静止機能』、「ミュート機能」、「Eズーム機能」をご覧ください。

- 静止
- ミュート
- Eズーム

シナリオの編集

プロジェクターにセットしているメモリアードのシナリオ内のスライドを投写する順番を変更したり、各スライドの表示・非表示を編集したりできます。

1 リモコンの[▲][▼][◀][▶] ボタンを押し、編集するシナリオにカーソルを合わせます。

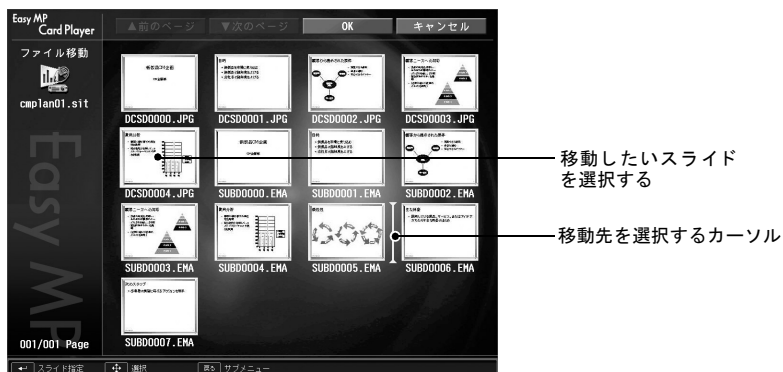
2 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。
 ガイドモード : [決定]ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。
 メニューで「シナリオ編集」を選択して[決定] ボタンを押します。

クイックモード : [戻る]ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。
 メニューで「シナリオ編集」を選択して[決定]ボタンを押します。

3 シナリオ編集画面が表示されます。
 目的のスライドにカーソルを合わせます。スライドの順番を入れ替える場合は手順4に、スライドを非表示にする場合は手順6に進みます。

4 使用中の操作モードに合わせて、リモコンの以下のボタンを押します。
 ガイドモード : [決定]ボタンを押すと、Easyメニューが表示されます。
 メニューで「ファイル移動」を選択して[決定]ボタンを押します。
 クイックモード : 移動したいスライドにカーソルを合わせて[決定]ボタンを押します。

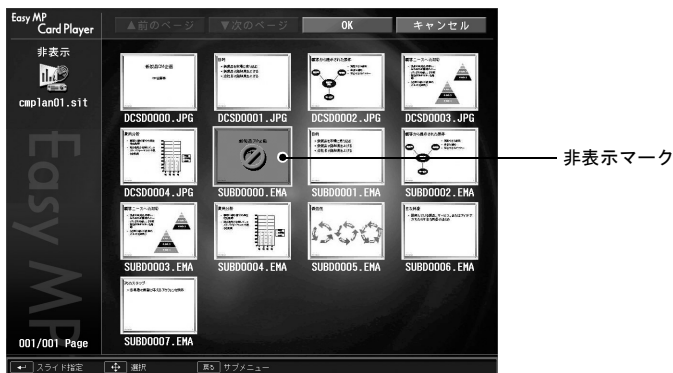
5 カーソルを移動先に合わせ、リモコンの[決定]ボタンを押します。



6 スライドを表示しないようにする場合は、目的のスライドにカーソルを合わせて、使用中の操作モードによりリモコンの以下のボタンを押します。

ガイドモード : [決定] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。
メニューで「表示 / 非表示」を選択して [決定] ボタンを押します。

クイックモード : [戻る] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。
メニューで「表示 / 非表示」を選択して [決定] ボタンを押します。



7 編集が終了したら、リモコンの[▲] ボタンを押して「OK」ボタンにカーソルを合わせて、リモコンの[決定]ボタンを押します。

編集した内容でシナリオが保存され、ファイル一覧表示に戻ります。保存しない場合は、「キャンセル」ボタンにカーソルを合わせて、リモコンの[決定]ボタンを押します。

画像・動画ファイルの再生

メモ리카ードに保存されている画像・動画ファイルを、CardPlayer 機能を使って再生するには、次の2通りの方法があります。

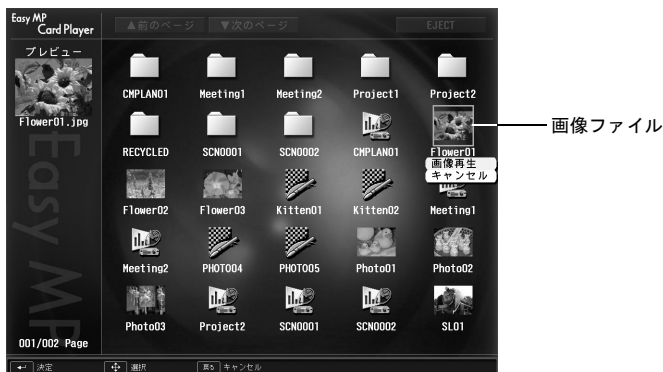
- **画像・動画ファイルの再生**
1つのファイルの内容を再生して投写する機能です。
- **フォルダ内の画像・動画ファイルの順次再生(スライドショー)**
フォルダ内のファイルの内容を、順番に1つずつ再生して投写する機能です。



動画再生時は頻繁にメモ리카ードにアクセスします。そのときにメモ리카ードをカードスロットから取り出すと、CardPlayer に異常が発生する場合があります。

画像・動画を再生する

- 1 CardPlayerを起動します。** ● p.23
セットしているメモ리카ードの内容が表示されます。
- 2 リモコンの[▲][▼][◀][▶] ボタンを押して、再生する画像ファイルまたは動画ファイルにカーソルを合わせます。**
- 3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。**
ガイドモード : [決定] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。
メニューで「画像再生」または「動画再生」を選択して [決定] ボタンを押します。



クイックモード : [決定] ボタンを押します。

- 4** 画像または動画が再生されます。リモコンの[決定]ボタンまたは[戻る]ボタンを押すと、ファイル一覧表示に戻ります。



ポイント

JPEG形式の画像を再生しているときは、画像を回転できます。

☛ p.28

フォルダ内のすべての画像・動画ファイルを順番に再生する (スライドショー)

フォルダ内の画像・動画ファイルを順番に1つずつ再生して投写できます。この機能を「スライドショー」と呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。



ポイント

繰り返して再生したり画面切替時の表示に効果をつけるなどの表示条件を設定できます。☛ p.37

- 1** CardPlayerを起動します。☛ p.23
セットしているメモ리카ードの内容が表示されます。
- 2** リモコンの[▲][▼][◀][▶] ボタンを押し、スライドショーを実行するフォルダにカーソルを合わせます。

3 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。

ガイドモード : [決定] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。
メニューで「スライドショー再生」を選択して [決定] ボタンを押します。

クイックモード : [戻る] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。
メニューで「スライドショー再生」を選択して [決定] ボタンを押します。

4 スライドショーが実行され、フォルダ内の画像・動画ファイルが順に1つずつ再生されます。

最後まで再生すると、自動的にファイル一覧表示に戻ります。オプション画面で「繰り返し再生」を「ON」に設定しているときは、最後まで再生すると最初から再生を繰り返します。● p.37

シナリオと同様、スライドショー投写中は次画面に送る、前画面に戻す、再生を中止することができます。● 「プレゼンテーション中の操作」 p.31

表示条件と操作モードを設定する

スライドショー再生の表示条件と操作モードを設定できます。表示条件で設定できる内容は繰り返し再生、表示時間設定、表示順序設定、画面切替効果、操作モード切り替えです。

1 リモコンの[▲][▼][◀][▶] ボタンを押し、表示条件を設定するフォルダにカーソルを合わせます。

2 使用中の操作モードにより、リモコンの以下のボタンを押します。
ガイドモード : [決定] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。メニューで「オプション」を選択して [決定] ボタンを押します。
クイックモード : [戻る] ボタンを押すと、Easy メニューが表示されます。メニューで「オプション」を選択して [決定] ボタンを押します。

3 各項目を設定します。
変更したい項目の設定にカーソルを合わせ、リモコンの [決定] ボタンを押すと、設定が有効になります。
各項目の詳細は次の表のとおりです。



繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定します。
表示時間設定	ここで指定した時間が経過したら、次のファイルを表示します。「なし」の場合は、リモコンの[決定]または[ページ送り]ボタンを押すと次のファイルに進みます。
表示順序設定	表示するファイルの順番を設定します。
画面切替効果	ファイルの内容を表示するときの効果を設定します。
操作モード切替	CardPlayerでの操作モードを切り替えます。初期設定は「ガイドモード」です。ガイドモードの操作方法は「Easyメニューの操作方法(ガイドモード)」(● p.26)を、クイックモードの操作方法は「クイックモードでの操作方法」(● p.28)をご覧ください。

4 リモコンの[▲]ボタンを押して「OK」ボタンにカーソルを合わせ、 [決定]ボタンを押します。

設定が適用されます。

設定を適用したくない場合は、「キャンセル」ボタンにカーソルを合わせて、[決定]ボタンを押します。



高度な使い方

ここでは、ネットワークを介して接続したコンピュータから、プロジェクターの設定を変更したり、管理したりする方法を説明しています。

コンピュータから設定・監視・制御をする	40
• Webブラウザを使って設定を変更する (EasyWeb)	40
• EasyWebを表示する	41
• プロジェクターの設定	42
• プロジェクターの制御	44
• EMP Monitorを使って監視や制御をする	45
• メール通知機能で異常を通知する	51
• メール通知の設定	52
• 異常通知のメールが送られてきたら	52
• SNMPを使って管理する	53

コンピュータから設定・監視・制御をする

コンピュータとプロジェクターを無線LANで接続すると、コンピュータからネットワーク経由で以下のようなプロジェクターの設定や管理ができません。

- Webブラウザを使ったネットワーク機能の設定とプロジェクターの制御 (EasyWeb)
- EMP Monitorを使ったプロジェクターの監視と制御(アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モード接続時のみ)
- **SNMP**▶と SNMP マネージャプログラムを使った、プロジェクターの状態やネットワーク設定の取得、プロジェクターの制御、異常報知(アクセスポイントモード接続時のみ)

ここでは、上記3つの方法について説明します。

Webブラウザを使って設定を変更する(EasyWeb)

プロジェクターとネットワーク接続したコンピュータの Web ブラウザを利用して、コンピュータからプロジェクターの設定や制御が行えます。この機能を使えば、プロジェクターから離れた場所から、設定や制御の操作ができます。

Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer 5.0以降を使用してください。



ポイント

- プロジェクターの環境設定メニューの「高度な設定」-「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておく、プロジェクターがスタンバイ状態(電源インジケータがオレンジ色に点灯している状態)でも、Webブラウザを使った設定や制御ができます。
- ご使用の Web ブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、EasyWeb を表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続するようにしてください。

EasyWebを表示する

以下のどちらかの手順で、EasyWebを表示します。

EMP NS Connectionのツールバーを使う

- 1 簡単接続モードまたはアクセスポイントモード、有線LAN接続モードでプロジェクターとコンピュータを接続します。☛『EasyMP セットアップガイド』『簡単接続モードで接続する』、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」
- 2 EMP NS Connectionのツールバーの「プロジェクター操作URL表示」アイコンをクリックします。
パスワード入力画面が表示されます。



- 3 パスワードを入力して「OK」をクリックします。
パスワードを設定していない場合は、何も入力せず「OK」をクリックします。☛『EasyMPセットアップガイド』 WEBコントロール用パスワード
Webブラウザが起動し、Easywebが表示されます。



プロジェクター
の設定

プロジェクター
の制御

プロジェクターのIPアドレスを入力する

プロジェクターのネットワーク設定で「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モード」に設定している場合は、次のようにプロジェクターのIPアドレスを指定してEasyWebを開くことができます。

- 1 コンピュータでWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピュータのキーボードの[Enter]キーを押します。
EasyWebが表示されます。

プロジェクターの設定

プロジェクターの環境設定メニューや、Network Screenのネットワーク詳細設定画面で設定する項目を設定できます。設定した内容は、環境設定メニューやNetwork Screenのネットワーク詳細設定に反映されます。

Webブラウザで設定できない環境設定メニューの項目

次の項目を除いて、プロジェクターの環境設定メニューの全項目を設定できます。

- 「ユーザーロゴ」メニューによるユーザーロゴの登録
- 「高度な設定」→「言語」、「Link21L」
- 「情報」→「ランプ点灯時間初期化」
- 「全初期化」

各メニューの項目の内容はプロジェクター本体の環境設定メニューと同じです。●『取扱説明書』『環境設定メニューの機能と操作』

Webブラウザで設定できるネットワーク設定の項目

Network Screen での全設定項目を設定できます。ただし、「MAC アドレス」は表示されません。



ポイント

有線LANで接続しているときは、「無線LAN設定」は表示されません。

各項目の内容は、Network Screenのネットワーク詳細設定画面と同じです。
●『EasyMP セットアップガイド』『簡単接続モードで接続する』、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」

ただし、WEP暗号については、Webブラウザからの設定では、HEX(16進)だけではなくテキストによるキーの入力ができます。

テキストでのキー入力による WEP 暗号設定の方法は、アクセスポイントにより異なります。そのため、参加するネットワークの管理者に確認し、まず「入力方式」で「TEXT1」を選択して設定してみてください。その設定で正しく暗号化されない場合は、「TEXT2」や「TEXT3」を選択して設定してみてください。

「WEP 暗号」で「128bit」を選択した場合、「キーID」は「0」しか選択できません。「40bit」を選択した場合、「0」、「1」、「2」、「3」のいずれかから選択できます。

プロジェクトターの制御

プロジェクトターの制御は、EasyWebの下部にあるEasyRemoteを使います。



各アイコンの機能は以下のとおりです。

PC/EasyMP	プロジェクトターで投写する入力信号を、コンピュータ/コンポーネントビデオ端子からの映像またはEasyMPの画面に切り替えます。
S-ビデオ/ビデオ	プロジェクトターで投写する入力信号をS-ビデオ端子またはビデオ端子からの映像に切り替えます。
静止	映像を一時停止します。ただし、音声は停止しません。もう一度クリックすると一時停止を解除します。プロジェクトター本体の静止機能と同じ機能です。
ミュート	映像と音声を一時的に消します。もう一度クリックすると解除します。プロジェクトター本体のミュート機能と同じ機能です。
電源	プロジェクトターの電源をオン/オフします。

EMP Monitorを使って監視や制御をする

コンピュータとプロジェクターを無線LANのアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続すると、EMP Monitorを使って、ネットワーク上の複数のプロジェクターの状況確認をしたり、電源のON/OFFや入力ソースの切り替えなどを一括して操作できます。各教室や会議室に配置されているプロジェクターをいっせいに起動したり、監視したりする場合に一人のオペレーターが一括して行うことができます。



ポイント

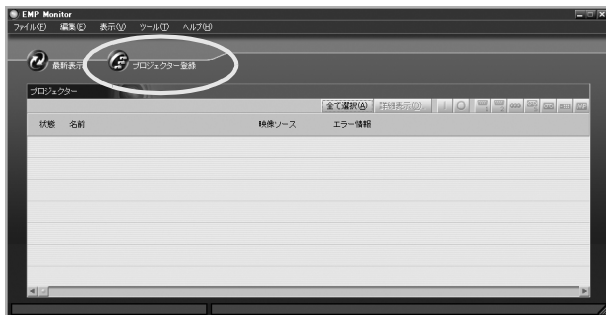
- 最大64台のプロジェクターを一括して監視・制御できます。
- プロジェクターの環境設定メニューの「高度な設定」-「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておくこと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、EMP Monitorを使った設定や制御ができます。
- EMP Monitorを使った管理機能は、無線LANの簡単接続モードでは使用できません。

EMP Monitorを起動する前に、次の点をご確認ください。

- 使用するコンピュータにEMP Monitorをインストールしておきます。
☛『EasyMP セットアップガイド』『EasyMP Softwareのインストール』
- プロジェクターとコンピュータがアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続できるように、ネットワーク設定をしておきます。
☛『EasyMP セットアップガイド』『アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する』
- Windows2000/NT4.0/XPを使っている場合は、管理者権限のユーザーに限り起動できます。

- 1 Windowsで、「スタート」-「プログラム」(または「すべてのプログラム」)-「EPSON Projector」-「EMP Monitor」の順に選択します。
EMP Monitorが起動します。

- 2 EMP Monitor をインストール後初めて起動したときや、プロジェクターを追加登録したいときは、「プロジェクター登録」ボタンをクリックします。すでにプロジェクターを登録しており、追加登録しない場合は手順8に進みます。



- 3 「自動検出」ボタンをクリックします。現在、ネットワークで接続しているプロジェクターの名前が一覧で表示されます。



ポイント

登録したいプロジェクターの IP アドレスがわかっている場合は、マニュアル登録機能が便利です。「マニュアル登録」ボタンをクリックすると、以下のプロジェクターマニュアル登録画面が表示されます。IP アドレスを入力して「確認」ボタンをクリックします。プロジェクター名が表示されたら、「追加」ボタンをクリックします。プロジェクター登録画面にプロジェクター名が追加されます。



- 4 状況確認や制御したいプロジェクター名を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



選択したプロジェクター名

- 5 他に監視したいプロジェクターがある場合は、手順4を繰り返します。
- 6 監視したいプロジェクターをすべて追加したら、「閉じる」ボタンをクリックします。
プロジェクター登録画面に戻り、追加したプロジェクター名が表示されます。



7 目的のプロジェクトをすべて登録したら、「閉じる」ボタンをクリックします。

監視したくないプロジェクトが登録されている場合は、そのプロジェクト名を選択し、「削除」ボタンをクリックすると削除されます。



マニュアル登録機能で登録したプロジェクト

自動検出機能で登録したプロジェクト



















ポイント

マニュアル登録機能で登録したプロジェクトのIPアドレスが変更になった場合は、プロジェクト名を選択して「編集」ボタンをクリックすると、IPアドレスの変更ができます。自動検出機能で登録したプロジェクトに対しては「編集」ボタンは使用できません。自動検出機能で登録したプロジェクトに対しては「編集」ボタンは使用できません。

8 登録したプロジェクトの状態がそれぞれ表示されます。一度登録しておけば、以降はEMP Monitorを起動するたびに、登録されているプロジェクトの状態を自動的に表示します。



表示内容は次の表のとおりです。







状態	プロジェクターの状態を次のようにアイコンで示しています。	
		電源ON異常なし
		電源ON異常あり
		電源OFF異常なし
		電源OFF異常あり
		ネットワークエラー(ネットワーク接続されていない、電源ケーブルが接続されていないなど)
プロジェクター名	プロジェクター名が表示されています。	
映像ソース	選択している映像ソースが表示されます。	
		コンピュータ、コンポーネントビデオ
		S-ビデオ
		ビデオ
		EasyMP
エラー情報	プロジェクターに異常が生じた場合、その状態を以下のアイコンで示します。	
		ランプ寿命警告 新しいランプと交換します。●『取扱説明書』「付録 ランプの交換方法」
		高速冷却中
		ランプ異常
		内部高温異常
		内部異常
		ファン異常
	温度センサ異常	
	『取扱説明書』の「故障かなと思ったら」をご覧になり処置を行ってください。	


9 登録したプロジェクターに対して、一括して電源のオン / オフと入力ソースの切り替えができます。制御の対象となるプロジェクターを選択し、目的の操作のボタンをクリックします。

登録したプロジェクターすべてを選択したい場合は、「全て選択」ボタンをクリックします。また、Windows でのファイルの選択と同様、範囲の先頭の行をクリックし、キーボードの[Shift]キーを押したまま最後の行でクリックすると、その間の行がすべて選択されます。[Ctrl]キーを押したままクリックすると、選択と解除を交互に指定できます。



ボタンと動作内容は次の表のとおりです。

「詳細表示」 ボタン	選択したプロジェクターの詳細情報を表示します。
 電源ON	プロジェクターの電源をオンにします。
 電源OFF	プロジェクターの電源をオフにします。
 コンピュータ	映像信号をコンピュータまたはコンポーネントビデオに切り替えます。
 S-ビデオ	映像信号をS-ビデオに切り替えます。
 ビデオ	映像信号をビデオに切り替えます。
 EasyMP	映像信号をEasyMPに切り替えます。

10 終了するには、「ファイル」-「終了」を選択するか、右上の「」ボタンをクリックします。

メール通知機能で異常を通知する

メール通知機能の設定をしておくと、プロジェクターが異常／警告状態になると、設定したメールアドレスに対して自ら異常状態を電子メールで通知してきます。これにより、プロジェクターの異常を離れた場所においても知ることができます。



ポイント

- 送信先(宛先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
- プロジェクターの環境設定メニューで「高度な設定」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源オフの状態)でも、監視ができます。

メール通知機能を使用する前に、次の点をご確認ください。

- プロジェクターとコンピュータがアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続できるように、ネットワーク設定をしておきます。
● 『EasyMP セットアップガイド』『アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する』

メール通知の設定

メール通知の設定は、Network Screen のアクセスポイント詳細設定画面または有線LAN詳細設定画面のメール画面で設定します。

●『EasyMP セットアップガイド』『アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する』

異常通知のメールが送られてきたら

メール通知先に設定したIPアドレスに、件名が「EPSON Projector」と記載されたメールが送信されてきたら、それがプロジェクターの異常を通知するメールです。

メールの本文には次のことが記載されています。

1行目:異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目:異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降:異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す内容は次表のとおりです。

メッセージ※	原因	対処方法
Internal error	内部異常	●『取扱説明書』『インジケータの見方』
Fan related error	ファン異常	
Sensor error	センサ異常	
Lamp cover is open.	ランプカバー開状態	
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗	
Lamp out	ランプ切れ	
Internal temperature error	内部高温異常 (オーバーヒート)	
High-speed cooling in progress	高速冷却中	
Lamp replacement notification	ランプ交換勧告	プロジェクターに映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
No-signal	ノーシグナル	

※メッセージの最初に(+)や(-)がつきます。

(+):本機に異常が発生した場合

(-):本機の異常が対処された場合

SNMPを使って管理する

コンピュータとプロジェクターを無線 LAN のアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続すると、[SNMP](#)とSNMPマネージャプログラムを使ってコンピュータからプロジェクターの監視、制御、異常報知を実行できます。



ポイント

- SNMP を使った管理機能は、SNMP マネージャプログラムを使用します。そのため、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が必ず行ってください。
- SNMPを使った管理機能は、無線LANのアクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続した場合にのみ使用できます。無線 LAN の簡単接続モードでは使用できません。



付 録

ここでは、本書で使用している用語の解説と索引を記載しています。

用語解説.....	56
索引.....	57

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを認識するための数字のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいて、ルータ、コンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経路で監視・制御するためのプロトコルです。
WEP	Wired Equivalent Privacyの略で、通信中のデータを暗号化するセキュリティ方法です。 WEPで暗号キーを登録しておくと同じ暗号キーが登録されている機器どうしでないとデータの通信が行なえなくなります。
DPOF	Digital Print Order Formatの略で、デジタルカメラで撮影した写真をプリントするための情報(プリントしたい写真とその枚数の指定など)を、メモ리카ードなどの記録媒体に記録するフォーマットです。

索引

アルファベット

AC-3	4, 22
BGM	8
bmp	4, 22
CardPlayer	23
DPOF	22
Easyメニュー	25
EMP Monitor	45
EMP SlideMaker2	6
Eズーム	31
JPEG	4, 8
jpg	4, 22
MPEG	4, 22
MPEG1レイヤー2	4, 22
mpg	4
mrk	22
png	22
PowerPoint	4
sit	12, 22
SNMP	53
wav	4
Webブラウザ	40

アイウエオ

ア

アニメーション	5, 10, 17
エラー情報	49
オートラン	12

カ

ガイドモード	25
画質	8
画像を回転	28
画像・動画再生	34
画像・動画ファイル	4
画面切替効果	38
クイックモード	25, 28
繰り返し	13, 38

サ

最高画質	8
作業用フォルダ	8
シナリオ	6, 30
シナリオ再生	30

シナリオの転送	12
シナリオ動作	19
シナリオの簡易作成	15
シナリオプレビュー	16
シナリオ編集	32
シナリオ名	8
スライドショー	5, 35
静止	31, 44
セル	9
操作モード	37

ナ

ネットワークの設定	43
-----------	----

ハ

背景色	8
表示時間設定	38
表示順序設定	38
表示条件	37
プレビュー	16
プログレッシブ形式	4, 22
プロジェクターの環境設定	42
プロジェクターの制御	40

マ

ミュート	31, 44
------	--------

ラ

リニアPCM	4, 22
--------	-------

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万一不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用するには、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

商標について

IBM、DOS/V は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。
Windows、WindowsNT は米国マイクロソフト社の商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
The freely available TIFF library written by Sam Leffler, Copyright © 1988-1997 Sam Leffler and Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc., is used for loading, drawing and writing the TIFF file.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ等の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
※エプソンなら購入後も安心、皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。
 *携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。
 *新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	T E L
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス棟	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス棟	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス棟	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス棟	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通商社ビル2F エプソンサービス棟	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス棟ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●Dトアドアサービシに関するお問い合わせ先

Dトアドアサービシとはお客様のご希望に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けするサービスです。*梱包は業者が行います。

Dトアドアサービシ受付電話 **0570-090-090** (全国ナビダイヤル) 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	T E L	受付拠点	引き取り地域	T E L
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)※松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通課訪支店で代行いたします。*Dトアドアサービシについて詳しくは、エプソンサービス棟ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●ショールーム *詳細はホームページでも確認いただけます。 <http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F

【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

72503002

